

## 平成30年史

①

## 全てはポケベルから始まった

## 第9部 デジタルが変えた文化

「お父さん、これ何？」 たよです」と衛藤は苦笑  
東京テレメッセージでポ

ケットベルの運用保守を手  
がけている技術者の衛藤純  
治(48)は数年前、小学生の  
娘にそう聞かれて虚をつか  
れる思いがしたという。

娘が指さしていたのは、  
自身が長年「商売道具」に  
しているポケベル端末。

「どうもキッチンタイマー  
か何かだと思っただらしく  
て。昔の携帯電話みたいな  
ものだよ」と説明しました  
が、あまり腑に落ちなかつ  
た。62年に数字や記

## LINEの源流

受信専用で数字や文字し  
か表示されないポケベルは  
現在のスマートフォンと比  
べるとあまりにも素朴な機  
械だ。しかし平成初期には  
多くの若者が飛びついた最  
先端の情報端末だった。

ポケベルのサービスが始  
まったのは昭和43年。当初  
は呼び出し音が鳴るだけの  
機能でもっぱらビジネス用  
だったが、62年に数字や記

号の表示機能が追加された  
ことをきっかけに個人向け  
に普及し始める。

現在、国内唯一のポケベ  
ル事業者である東京テレメ  
ッセージ社長の清野英俊  
(63)によると、テレビドラ  
マ「ポケベルが鳴らなく

※当時の新聞記事などから抜粋

0840	= おはよう
0833731	= おやすみなさい
4649	= よろしく
88951	= 早く来い
4919	= 至急行く
0906	= 遅れる
89860	= バカヤロー
14106	= 愛してる
93410	= キスして
11014	= 会いたいよ
3470	= さよなら

## ポケベルメッセージの例文



て」が放映された平成5年  
ごろからブームが過熱し、  
ピークの8年には契約数が  
1078万に達した。

女子高生を中心に、数字  
の語呂合わせで「0840  
(おはよう)」「1410  
(愛してる)」のような

メッセージを送る遊びが流  
行した。「02 428  
240 (待つ、渋谷、西  
口)」など暗号さながらの

ものまで。学校内の公衆電  
話に行列ができて、友人や  
恋人にメッセージを送る姿  
があちこちで見られた。

話を送り合う。その変化は  
平成時代のコミュニケーション  
の源流となった。

ポケベル自体はPHSや  
携帯電話の本格的普及に伴  
って急速に所持数を減らす  
ようなクロスド型SNS

が求められていると判断  
した」とサービスを開始し  
た背景を明かす。

メールなど従来型のデジ  
タルコミュニケーションと  
比べると、LINEの際だ  
った特徴は、用意された絵

マホ向けアプリ「LINE  
E」だ。  
運営するLINE株式会社  
は「ツイッターやフェイ  
スブックのような『新たな  
出会い』を主眼としたセミ  
オープン型SNSよりも、  
身近な友人や家族、同僚な  
ど『大切な人とのコミュニ  
ケーション』をサポートす  
るようなクロスド型SNS

が求められる」と判断  
した」とサービスを開始し  
た背景を明かす。  
メールなど従来型のデジ  
タルコミュニケーションと  
比べると、LINEの際だ  
った特徴は、用意された絵

20面に続く

平成三十年史「DVD 先行予約」

産経ネットショップ <https://sankenshopp.jp/>

コールセンター ☎0120-501-675 (予約専用。午前9時～午後9時)



3面から続く

ルな文章を書くことが年を追うごとに苦手になっている」と明かす。

書き言葉と話し言葉の融合がデジタルコミュニケーションのひとつの特徴だ。約15年前から携帯メールと若い世代の言語表現の変化の関係を研究する社会言語学者で東洋大教授の三宅和子は、こう指摘する。

「最近のLINEなどでのコミュニケーションを見ると、グループ単位になって、より会話に近くなってきている」  
一方、広い意味での語彙にあたる「言語資源」は以前の世代より豊かで、単に日本語力が落ちたとはいえない、と三宅は補足する。

昨年年度の研修を担当した人事部能力開発チーム主任(当時)の佐藤紘(34)は、研修の理由について「LINEを用いた気軽なやりとりがスタンダードになっ

ており、比較的長くフォーマ

えせ関西弁や多種多様なネット用語、絵文字、スタンプ：。「それを私たちが古い世代にはないリズムで自在に使っている。スマホを持ち歩くことで、いつでもどこでも自分の表現を伝え

昭和	43年	電電公社、ポケットベルサービス開始
	61	東京テレメッセージがポケベル事業参入
	62	NTT、携帯電話サービス開始
	7	NTT、PHSサービス開始
平成	8	ポケベル契約数がピークの1078万
	11	ドコモ、iモードサービス開始
	19	ドコモ、ポケベルサービス終了
		携帯電話・PHS契約数、1億台突破
	20	米アップルのスマホiPhone日本上陸
	21	ドコモ、AndroidOS搭載スマホ発売
	23	LINEアプリがサービス開始
	27	スマホ保有率が初の5割超え

(NTTドコモ、総務省サイトなどを参照)

ポケベルからスマホへの変遷

る相手がいる」

物心がついたときからパソコンやスマホに親しんでいるデジタルネイティブ世代。言葉が変化した背景を探ると、人間関係の変化がみえてくる。

「情報量が増えれば増えるほど、選ぶのが大変になる。だから多くの人はフィルターをかけて情報を減らし、限られた世界の中で人間関係を結ぶ」

平成期を通しての社会的価値観の変化を研究する文教大准教授の酒井信(40)は、スマホ普及による情報量の膨大化が、若い世代のコミュニケーションや人間関係を一変させた位置づけ

る。「ネットを通じて、本来コミ

ユニケーションはグローバルに広がる可能性があるのに、逆に各個人がどんどん閉じた環境に取り巻かれるようになった」

マーケティングの視点から若者を分析する博報堂ブランドデザイン若者研究所リーダーの原田隴平(41)は「一度SNSでつながったら進学や就職を経てもずっと途切れないわけだから、人間関係数自体は過去最高だろう。以前の世代に比べて常に多様な人たちの生の声に接しており、共感力が高い」と分析する。

しかし、そこにはマイナス面もあるという。「関係が薄い人も含め、あまりにつながり過ぎているので、SNSムラ社会」のようなものが生じている。出航は打つという極めて強い同調圧力の中で生きており、自由な発想や遠慮のない議論はかえって難しくなっているのではないか」

# 情報の肥大化閉じた人間関係